

第5回 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会議録

1. 日 時 : 平成 27年 10月 23日 (金) 10:00 ~ 11:20
2. 場 所 : 垂水市役所3階 全員協議会室
 1. 開 会
 2. 市長あいさつ
 3. 協 議
3. 会 次 第 :
 - ①垂水市人口ビジョン (原案) について
 - ②垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (原案) について
 - ③その他
4. 出 席 者 :
 - ・尾脇 雅弥 市長
 - ・川畑 博海 副会長
 - ・平野 日出生 (代理)
 - ・脇元 浩継 (代理)
 - ・北迫 透 委員
 - ・北川 善郎 委員
 - ・岩橋 由紀 委員
 - ・永田 兼一 委員
 - ・福村 功次 委員
 - ・上村 智彦 委員
 - ・田中 加奈子 委員
 - ・森 真由美 委員
 - ・宮下 直弥 委員
5. 欠 席 者 :
 - ・佐野 雅昭 会長
 - ・宮迫 隆憲 委員
6. 事 務 局 :
 - ・角野 課長
 - ・堀留 係長
 - ・脇 副主幹
7.
 - ・有馬 主任主事

事務局 … 本日は、委員の皆さまにおかれましては、ご多忙のところ、本審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

開会の前に欠席委員の報告を行います。

L会長につきまして、日程決定後、急な仕事が入り、欠席となっております。また、K委員につきましては、仕事のため、欠席との連絡がありました。

このため、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会設置要綱第6条第2項によりまして、過半数の委員の皆さまのご出席をいただきましたので、ただいまより平成27年度第5回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。

市長 … 皆さま、おはようございます。

「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しいところ、本審議会に

ご出席をいただき、誠に有難うございます。

さて、前回の審議会において、『垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の素案をご説明させていただきました。

その後、前回の素案をもとに、住民の皆様からご意見を頂くためのパブリックコメントを実施させて頂きました。

また、幅広いご意見を伺うため、報道機関や鹿屋公共職業安定所などと意見交換をさせていただきました。

このような意見交換を重ねながら、庁内での協議・検討を行った結果として、本日お示しさせていただく原案となっております。

本日の審議会において、お示しする総合戦略のもと、今後5か年の垂水市の人口減少に歯止めをかけるとともに、将来に渡って活力ある地域社会の維持・発展につながる戦略づくりの策定を完了させることとなります。

したがって、これらの課題解決に向けて、本日は、総合戦略に対しまして、ご意見やご提案などを頂きながら、積極的なご議論を賜りますよう、お願い申し上げます。

簡単ではございますが、開催のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

事務局 … ありがとうございます。それでは、会次第3の協議に入りたいと考えますが、議事進行につきましては、「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会設置要綱第5条第4項」の規定により本審議会の会長の職務を代理するM副会長にお願いいたします。

M副会長 … おはようございます。
本日は、L会長が欠席ということですので、私のほうで進行させていただきたいと思っております。
まず、協議①の垂水市人口ビジョン（原案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 … 本日の審議会では、それぞれ原案について、ご説明させていただきます。
前回の審議会において、素案をご説明させていただきました。前回の素案をもとに住民の皆様方からご意見を伺うためのパブリックコメントを実施させていただきました。
また、パブリックコメント期間中を含め、本市の素案について、今回の地方創生の重要な位置づけとなる地元金融機関との2回目の意見交換会を実施させていただきました。
その他にも、産官学金労言と言われる幅広い意見を伺うために、鹿屋公共職業安定所や報道機関とも意見交換を開催し、ご意見を伺わせていただきました。
その中で、出された意見等を庁内で検討・協議を踏まえ、今回の原案を審議会の委員の皆様にお示しするものとなります。

本日の審議会におけるポイントとしましては、今回の原案をもとに最終調整を行ったうえで、27日に開催される地方創生等特別委員会で議員への説明を行い、29日に庁内の本部会議を開催し、同日、本市の重要施策に関する事項を審議するための庁内の経営会議を開催し、最終の承認を受けたいと考えておりますことを、ご理解いただき、本日、ご審議のほどお願いしたいと考えております。

それでは、協議1の「垂水市人口ビジョン（原案）」について、ご説明させていただきます。

これまでの審議会でも、ご説明しているように、この人口ビジョンで、本市の人口の現状分析をデータでお示ししております。

総人口の減少が続いている状況や転出者数が転入者数よりもかなり多い状況にあること。その中でも、若年層の流出超過が際立っていること、また、今後益々、少子高齢化が進行し、適正とは言えない年齢構成となることが予想されております。

このような現状のもと、人口減少や人口の変化といったことが、地域に及ぼす影響としまして、

スーパーなどの店舗が本市から撤退することで、買い物が困難となる住民が増えていくことや、空き家の数が増加し、倒壊危険家屋が増え、また、まちの景観へも影響が出るなど生活への影響が予想されます。

また、子ども関連施設の減少による利便性の低下や教育活動が困難となり、子育てへも影響を及ぼすことが予想されます。

その他にも、健康保険料・介護保険料の負担増や医療・介護の人材不足になるといった社会保障への影響も出ることが予想されます。

また、人口減少は、事業規模や就業人口の減少といった産業への影響も予想されます。

このような現状や影響を踏まえ、本市が目指すべき方向を提示しております。

魅力ある仕事づくりにより、若年層の市外流出や市内への呼び戻しを実現することで、社会減の流れを断ち切ることであります。

また、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現することで、少子化といった自然減の流れを変えることであります。

また、全国と同じように本市の人口減少・高齢化社会の中でも、持続可能なまちづくりを実現することで、誰もが住みやすい地域社会を創ることになります。

このような方向性に向けて取り組むことで、

2030年までに、出生率を1.8に向上させ、社会増減を±0に近づけるとともに、家族移住への取組みを進めることで、2060年において、12,000人程度の人口の維持確保という人口の将来展望をお示しするものとしております。

なお、前回の素案時の補足説明としまして、P74～老年人口比率の適正化を追加で補足として記載しておりますが、その他は、大幅な修正点はないことをご報告させていただき、人口ビジョン（原案）の説明とさせていただきます。

M副会長

… ありがとうございます。

この1万2千人という数字は大変厳しい数字ではありますが、5,700人まで減っていく推計がでています。

そのために、人口ビジョンなどを作成するわけですが、委員の皆さまから何かご質問はありませんか。

ないようでしたら、市長、ひと言いただけないでしょうか。

市長

… 私、昨日まで市長会の研修でオーストラリアへ行っておりました。そこで、シドニーに行って思いましたのが、気候や環境は大変素晴らしいところでした。地震なども30年前に震度2があっただけで、食料自給率高いのですが、輸出の中心ではなく、輸出の中心は石炭などのエネルギー原料が豊富にあるということで、競争条件が違うわけですが、GDPが30年連続増加している世界でも珍しい国でした。

ひとつ、なるほど、と思ったのは、移民政策でした。毎年1万人ずつと受け入れているとのことでした。

移民も誰でもかれでもではなく、国にとって必要な人材、技術を持っている。お金を持っている。そういう条件付きで受け入れていました。

日本の全体的なこととして、少子高齢化・人口減の絶対的な背景があります。過去の右肩上がりの高度成長期を過ぎて、ヨーロッパ諸国が辿った道を歩んでいるんだと思います。人間で言えば、青年期を超えて、円熟期に入っているんで、そのような絶対的な背景を変えることはできない。しかし、その中で、どういった対策を講じるのかということが地方創生だと思うんですが、横並びでやっていきますので、これで十分かと言われれば、予想を下回ることもありますので、基本的には政策的なもの、あるいは、官民連携しての違う分野での連携で、企業誘致や雇用の場などがあります。

これは、私の個人的な考え方なんですけども、外国人をどのように受け入れるのかが大きいと思います。出生率1.8を目指すとは言うものの、なかなか難しいと思います。成長するまでには時間がかかりますから、国家戦略も含めてそのへんをどのように受け入れていくのかが大事ななと思います。

例えば、今、ベトナムの方々が来ていただいております。女性ではありますが、非常に真面目で手先も器用です。ある意味、私の中では、実験なんです。インドネシアとの交流をやっている。あるいは、フィリピンや中国の方々とでは、性格が違います。肌の色は同じでも性格は全然違います。急に始めるということは難しいですが、そのようなところ

も検討しておかないと難しいと思います。もちろん、日本人だけで賄えればいいのですが、難しい部分であると思っておりますので、計画とは違うところになりますけども、このビジョンを一つ一つ具現化していかないといけないと思っております。

人口を減らさないようにするには、プラスのエネルギーの施策をどうやって展開していくのが大事になりますので、いろんなかたちでご提案いただければと思います。よろしくお願いします。

M副会長

… ありがとうございます。

移民などについては、国家レベルの話だと思います。企業などにおいても外国人が働いていたりします。

人口ビジョンについては、何か質問などはありませんか。

ないようでしたら、協議①の人口ビジョンについて、事務局からいただきました原案を承認してよろしいでしょうか。

「はい。」という声あり。

ありがとうございます。

では、続いて、協議②の垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

… 次に、協議2の「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）」について、ご説明させていただきます。

まず、これまでの繰り返しとなりますが、はじめに、こちらの4つの基本目標をご説明させていただきます。

これまでもご説明してきたとおり、本市の総合戦略において、国の総合戦略の基本目標に沿って4つ設定しております。

理由としまして、市長の公約のひとつ「6次産業化と観光振興」に既に取り組んでいること。また、国よりも先に、平成25年に人口減少対策プログラムを策定し、「住環境整備と子育て支援の充実」に以前より、取り組んできております。

そうした中での、国が目指す地方創生において、「人口減少への歯止め」、「東京一極集中の是正」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現」、「地域特性に即した地域課題の解決」を目的として国も総合戦略に取り組むことを目指していることから、

本市のこれまでの取り組み、また、今後取り組まなければならない雇用対策などと合致しているため、国と同じ基本目標で本市の地域課題の解決への取り組んでいけることが設定した理由となります。

1つ目が、『基本目標①垂水市における安定した雇用を創出する』とし、しごとづくりの分野を設定しております。数値目標を雇用創出・新規創業件数としております。

ここでは、本市基幹産業である農業・水産業を生かした市全体での6次産業化促進や販路拡大への取り組みなどを盛り込んでおります。

また、『魅力ある「しごとづくり」の推進』では、医療・福祉分野への求人が多くなっている状況を踏まえ、今後、これらの分野への就職希望者の資格取得に向けた支援への取り組みを行うこととしております。

次に、『基本目標②垂水市への新しいひとの流れをつくる』とし、ひとの流れの分野を設定しております。

数値目標として、総交流人口や社会増減数を基本目標として設定しております。

その達成に向け、本市の地域資源を生かした一体的なブランドづくりや効果的なマーケティング戦略等の推進主体となるDMOの早期設立への取り組みや交流人口の拡大を目的に、また、その先の定住に向けた「新たな拠点整備」について、その拠点に持たせる機能を記載しております。

また、移住定住対策の推進において、移住希望者向けの総合相談窓口の設置や空き家バンクの促進とともに、優良な空き地の情報提供に向けた制度構築等への取り組みとしております。

次に、『基本目標③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる』では、子育て世帯等の希望実現に向けた子育て支援分野となりますが、数値目標を出生数や生涯未婚率としております。

この達成に向け、子育て支援センターの内容充実や子育て相談体制の整備について、また、不妊治療に悩む夫婦向けの助成制度への取り組みとしております。

また、その他に、子育て世帯にとって、関心が高い、子どもの教育の充実を図り、ふるさとへの愛着を持ってもらえるような取り組みとしております。

その他に、新たな未婚対策を含めた若年層の出会いの場の創出への取り組みを進めてまいります。

最後、『基本目標④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する』とし、まちづくりの分野となり、数値目標としまして、垂水市内の事業所の稼ぐ力の向上に向けた「全事業所の売上高」や「今後も住み続けたいと思う人の割合」を基本目標として設定しております。

その達成に向け、基本目標②で説明しました垂水市版DMOの早期設立や大隅半島の4市5町との広域観光等の広域の連携体制への取り組みとしております。

また、安心して暮らせるまちづくりの推進としまして、地域振興計画をもと、地域住民自らが地域行事などを盛り上げながら、地域を担う人材育成への取り組みや、過去の災害を生かすための防災対応への取り組み等としております。

以上、4つの分野への取り組みを行い、平成31年度までの戦略としたいと考えております。

本日が、策定に関しては、終了とさせていただきたいと考えておりますが、

今後、本市としましては、この総合戦略をもとに、垂水市版地方創生実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

最後に、短期間の策定となり、審議委員の皆さまには、5月よりほぼ毎月の出席をお願いし、ご協力いただきましたことを深くお礼申し上げます。有難うございました。

なお、審議会の委員の皆さまにおかれましては、平成29年3月31日まで、審議会の委員をお願いしておりますので、来年度は、今回の総合戦略に基づき、取り組む事業の進捗管理の確認をしていただき、事業に対するご意見をお聞かせ頂ければと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

以上、『垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）』の説明とさせていただきます。

M副会長

… ありがとうございます。

今、説明の中にもありましたように、原案ができあがりまして、今回は承認をいただきたいということでもあります。そのあたりも、理解していただいて、皆さまのほうから何かご意見はありませんでしょうか。

大事な戦略ですので、皆さまの色々な立場からご意見をいただければと思います。

その前に、L会長からの意見書が提出されていたということですので、説明をお願いします。

事務局

… 昨日、L会長より計画書に目を通していただきまして、意見書を提出していただきましたので、ご報告させていただきます。

読み上げますのでよろしくお願いいたします。

鹿児島大学の佐野です。全体の構成や内容については、特に異論はありません。文書表現で気付いた点のみ FAX させていただきます。ということで、意見書の提出がありました。中身を確認しましたが、「てにをは」や誤字などの修正のみでしたので、特に披露はしませんが、全体的な構成や内容については、異論はないとのことでした。ご報告いたします。

M副会長

… ありがとうございます。

L会長にも目を通していただいて、文言修正などの訂正だけだったということでした。

では、L委員のほうからよろしくお願いいたします。

L委員

… 第1回から市役所の皆さんを中心に計画を作ってきたのですが、ビジョンの中で毎年25組の移住が大きいポイントになってくると思います。

ここに対して、いかに垂水市が魅力的な支援を、若い世代や子育て世代にしていくのかということ、外部や今住んでいるみなさんにも、垂水市はこんなに住みやすいまちだということ、自分たちがまず知って、

PR していくことが大事だと思います。内外への情報発信については、ホームページなどの活用はもとより、第三の拠点ができたら、道の駅、森の駅などのいろんな施設があるわけで、こういった施策をしているという分かりやすい PR が大事になると思います。

毎回、言っていますように、やはり、仕事がないと生きていくには厳しいわけで、市長をはじめ、さまざまな施策をしていただいておりますので、今後もリーダーシップを発揮していただいて、雇用などを生み出していただければと思います。

大野地区も年々、少しずつではありますが若い人たちも増えてきておりますので、NPO などもできたり、できる範囲では少しずつやっています。地域だけでは難しい部分もありますので、市役所と協力して地域活性をしていきますので、自分たちのしていることは小さいことでも地域で頑張っているということが分かれば、他の地域も活性化していくだろうし、その地域で連携していくことで、大きなまちづくりになると思っています。

M副会長 …… ありがとうございます。

大野のみなさんが頑張っていることは素晴らしいと思いますので、行政もバックアップを是非よろしくお願いします。

次に、N委員よろしくお願いします。

N委員 …… 私は、子育て分野でこの会に参加させていただいているのですが、主に子育て支援センターの充実などをしておりまして、現在、利用者も増えてきております。

今からの課題としましては、支援センターがあるんですが、そこに行く勇気がないお母さん方や家に引きこもりがちのお母さん方に参加していただくシステムを作っているところです。

苦言のようになってしまうのですが、先日、市外から垂水に嫁いできたお母さん方は友人がいない状態で、妊娠して出産したら支援センターを利用するかたちなのですが、妊婦の方が市役所で、妊婦なんです。子育て支援センターに行ってもいいですかと尋ねたら、どこの窓口で聞いたのかは分からないのですが、妊婦が行ってもいいかどうかは分からないと言われたみたいです。その後、社協に連絡があって、妊婦さんでも遠慮なくきてくださいということがありました。

私たちも、情報発信がまだまだ足りないんだなと感じて、出産までの間で友達がいなくて、知らない土地で生活するのはすごくストレスを感じるでしょうし、その間のケアが足りていないのかなと最近すごく感じました。情報発信を上手にしていって、地域の方々にも妊婦さんでも利用できるということをお願いしたら、ありがたいなと思いました。

私は、高校生までを担当してまして、学校などにも行かせていただくのですが、先日、井グランプリがあった時に、垂水高校が優勝された

ということで、新聞にも大きく掲載してありました。せっかく作った井を地元のどこのお店でも食べることができないというのを聞いて、その商品が垂水の色々なところで食べることができれば、市外の方がそこで食べようかということになって、地域が活性化すると思います。難しいとは思いますが、コンビニなどと連携するなど。垂水高校の生徒のみなさんも優勝しても、その次がない。垂水はそういうことが多いと聞きます。せっかく、その井グランプリが盛り上がりつつも、その次がないと残念だと思いますので、今後検討しても良いのかなと思います。

M副会長

… 貴重なご意見ありがとうございます。

事務局にお尋ねしますが、井グランプリで優勝して、その先はわからないでしょうか。

事務局

… 企画政策課で直接携わっていないということもありますが、志布志などでは、井グランプリの後にのぼり旗が立って、食べることのできる店を表示するなどがあります。グランプリには参加できなかったが、遊びに行ったときに食べることができる。というような循環は非常に重要なことだと思います。本来なら、そこを目指してイベントをやるのが大切だと思いますので、そのあたりについては、今後、関係課と協議しながら方向性のようなものを出せればと思います。

M副会長

… 次に、J委員お願いします。

J委員

… 育児休暇を取得するのは女性という考え方があって、特に鹿児島はその考え方が強いような気がします。さらに、垂水ではもっとその考え方があるような気がして、垂水市役所の職員の方々が行事にたくさん参加していただいている、この前の校区の運動会など、すごくありがたいなと思います。ですので、あともう一步頑張ってもらって、市役所の男性職員の方が積極的に育児休暇を取得していただければ、うれしいと思います。

教員の立場としては、そのような子どもたちを育てていきたいと思いますので、みんなで垂水をもっともっと良いまちにしていけたらなと思います。

総合戦略については申し分ないと思います。

M副会長

… ありがとうございます。

子育て分野から貴重なご意見をいただきましたので、これも事務局のほうでつないでいただければと思います。

次に、I委員お願いします。

I委員

… 人口ビジョンも総合戦略も方向性が定まって、これからが本番だということだと思います。

私が一番感じることは、一部の方々だけではなくて、垂水市全体で一

致団結して同じ方向に向かっていかなければうまくはいかないと思っていますので、そういう意味でも金融機関として、特に雇用の創出に協力していきたいと思います。

最後に、この原案については、特に意見はございません。

M副会長

…

ありがとうございます。

金融機関の方々にも是非ともバックアップしていただきたいと思いま

す。
次に、H委員お願いします。

H委員

…

人口ビジョン、総合戦略、スタート地点の一步手前にこれたのかなと思います。問題は今からだと思います。どうやって実践していくのかということ、そして、垂水市民にどうやって浸透させていくのか。我々金融機関としては、外の資本をどれだけ活用できるのかが重要になってくると思います。

ひとつの金融機関ではなく、市内4金融機関が連携しながら、良い発想のもとで、よいプランに対して、地元資本を獲得できるような方向性を今から検討していかなければならないと思っています。

M副会長

…

ありがとうございます。

おっしゃるとおり、これができて終わりではありませんので、みなさんのご協力をお願いしたいと思います。

次に、F委員お願いします。

F委員

…

基本的には、人口ビジョン、総合戦略、了解したいと思います。

垂水市は一次産業と観光で頑張っていくということをお聞きしまして、来年度予算を立てられると思います。

1点だけ確認したいのですが、概要版の14ページですが、数値目標の今後も住み続けたいと思う人の割合が26年で47.2%で、目標値が50.0%で、その差が2.8%ですが、その根拠を教えてくださいませんか。

事務局

…

基準にしております、今後も住み続けたいと思う人の割合の47.2%の根拠についてですが、平成26年度に総合計画に基づく「市民満足度調査」を実施しております、その中ででている数字です。過去に3~4回実施しているのですが、半分いかない状態が続いております、ここを半分にする努力をしっかりとしていこうということで、満足度調査も引き続きやりながら、PDCAにのせて政策的な分析を行って、満足度があがる努力につなげていこうと考えております。

なかなか、50%をクリアすることができていない状況が続いていますので、47.2%を目標設定の基準といたしました。

M副会長

…

ありがとうございます。

2.8%を小さな数字に感じますが、この小さな数字をクリアすることが非常に難しいということでした。

次に、E委員お願いします。

E委員	<p>… 総合戦略に関して、内容が頭に入ってきてやすい表現になっていると感じました。意見等は特にありません。</p> <p>垂水市の人が減っていく悪循環をどのようにして変えていくかの戦略を実行して好循環へ向かわせることは、人が重要なのだと感じました。</p> <p>原動力が人であるだけに、先程、市長もおっしゃいましたが、移民政策に関しましても、新しい大きなエネルギーを、地元の垂水市民の方々だけではなく、外か入ってこられる方々にも浸透させていくということは大切なことだと感じました。</p> <p>農業の面では、フィリピン・中国などから多くの方たちが研修としてこられているという話をよく聞きます。いずれ私たちも農業分野で外国の方々に関わっていくと思いますが、そのエネルギーを受けた場所だけで留めるのではなく、受け入れる側ももらう側も垂水に生活する市民として活用していくことが大切だと思います。</p> <p>垂水市にある農業団体があるのですが、今は活動していない状況がありまして、つい最近ですが、また活動していこうという話がでてきています。女性農業者のつながりも広げていこうという話がでています。</p> <p>このような素晴らしい戦略が固まって、関わりつつある人たちをどうやって参加させていくのかが、これから実践に移る段階で重要になってくると思います。</p>
M副会長	<p>… これからの農業は明るいのかなと思います。</p> <p>先日、和歌山で農業総合研究所をされている方の話を聞く機会がありまして、42歳で奥さんの実家である和歌山に移り住んで農業を始めて、8年で38億の会社を作られた方で、その仕組みがすごかったです。和歌山にいながら、全国の農産物を動かすすごいことをやっていますので、ビジネスモデルを作っていくことで、垂水からどんどん全国へ発信していけると思いますので、垂水の農業を盛り上げてください。</p> <p>次に、C委員お願いします。</p>
C委員	<p>… 両計画について何もいうことはないのですが、若い世代の10代の方が少ないということがあります。</p> <p>高校などでは、垂水からバスで通っている子どもたちもいるのですが、中学校の通学バスを見ていたら、高校生もバスを利用できないのかなと単純に思いました。そうすれば、垂水高校に通う生徒も多くなるのではと思いますし、地元企業へ就職する生徒も増えるのではと思います。そうすることで、人口の流出も少しは防げるのではないかなと思います。</p>
M副会長	<p>… すみません。事務局へお尋ねしますが、即答はできないと思いますが、高校生が市のバスに乗ることはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>… バス自体の運行が義務教育の部分にありまして、そこに高校生をという問題が今はあります。</p> <p>ただ、うまく方向性を見つけ出して、そのような活用ができていけれ</p>

ば面白いとは思いますが。

C委員 … 行きは多いんですが、帰りは部活などで時間がバラバラで空きが多い状況だと思います。

事務局 … 廃止代替路線バスを活用しているわけですが、公共交通機関としても充実しているわけではありませんので、そのようなかたちで、活用できれば可能性も広がっていくのかなと思います。

まずは、協議をしてみないと、どのような課題があって、解決の方法があるのかを勉強してみないといけないと思います。

市長 … 今、課長が組織の問題で同じ方向に向かうバスでも一緒に乗れないということがあるとありましたが、住宅などについても、教職員住宅が空いているのだから、誰かを住ませればという話もありますが、組織の財源の出所が違ったりしますので、それはそれで正解です。

官と民の成り立ちの違いがありますので、市の職員は基本的に、どうすればできるかというスタンスで仕事をしております。しかし、一定のルールは無視することはできませんので、民間の感覚でこうしたほうが効率が良いとかありますが、現行の中で法に触れてはいけませんで、頑張ってもらっています。スピード感を持って、こうしたらできるというスタンスで仕事をやってもらっています。

意見があったら考えますので、みなさんにどんどん意見を出してもらいたいと思います。

L委員 … そのバスに関しては、大野地区には小学生が1人居て、高齢者の方々が利用する乗り合いタクシーと連動して、その小学生はお爺ちゃんお婆ちゃんと一緒に垂水の小学校に通っています。それについても、市役所と協議して、義務教育だからということで実現しました。

M副会長 … それもすごく良い話ですね。垂水高校を卒業してから3人ぐらいしか地元に残らないというような話も聞いたことがあります。そのような取組で垂水高校生が増えることで人口増にもつながると思いますので、頑張っていたきたいと思います。

次に、B委員お願いします。

B委員 … 先週、福岡の八女市に研修に行きまして、JAが直売所を持っていて、その年間売上高が8億円あるとのことでした。そこに登録している農家が650名ほどいるそうで、ほとんどが果物で、肉は別なところから少し仕入れているのですが、垂水のAコープで品物を出している農家が50~60名おります。その売上が大体2千万円です。八女市の状況をみて、売上がすごいなと思いましたけど、佐賀県や大分県からも買いにくるお客さんもいらっしゃいますから、きもつき農協が250億売上があるんですけど、その内の180億が畜産関係となっています。野菜に特化した地域は東串良のピーマンなどはあるんですが、野菜・果物だけでそれ

だけの売上を上げるところは、あまりありません。

一次産業が重要であるという話があり、30代~40代の後継者がいらっしやるんですが、うちの後継者に誰か嫁さんはいないかななどの話もあるんですけど、畑にばかり行って遊びもせず、なので、婚活などをJAがしてくれないかななどの話もあるんですけど、戦略ができたからには、そのような取組もやっていって、地域活性化になるのではないかと思います。

M副会長 …… ありがとうございます。

JAさんなどは、色々な情報が入ってくると思いますので、農家とのつながりもですし、婚活はJAさんも開催できるのではないのでしょうか。今後、取組んでいってもらいたいと思います。

次に、A委員お願いします。

A委員 …… 人口ビジョンと総合戦略を達成するためには、水産業の雇用を増やしていくことが必要になってくると思いますが、雇用を増やすためには、我々組合もですが、これからも行政の方々の力を借りたりしながら、サポートをして組合経営をしていきたいと思っています。

道の駅についてですが、牛根漁協の売上が、通行止めと桜島の影響で約4割落ちています。回復しつつはあるものの厳しい状況です。道の駅自体については、最近、辞められた方が多いような気がします。これからも市のバックアップをよろしくお願ひしたいと思っています。

M副会長 …… ありがとうございます。

道の駅の話はよく分からないのですが、よろしいですか。

A委員 …… 道の駅の売上が縮小しているようなことも聞くものですから、通行止めや桜島の関係があるようです。牛根漁協の売上也4割落ちています。

M副会長 …… かなり影響がでていうことですね。事務局、牛根の道の駅については。

事務局 …… 桜島レベル4の問題、深港川災害で通行止めがあったりして、桜島観光自体が大きなダメージを受けています。

我々も、数字的なものを色々出してもらいながら、通行止めによる影響額などを出したりもしました。

それと、温泉の問題とか色々ありまして、そこらへんの対応等で収益の調整等をおこなっていくことをやっているのですが、その中で、職員に対する人件費の削減というものは、報告がありました。

当然のことながら、収益については回復しつつあります。人も徐々に戻ってきてくださっていますので、人も元に戻していただけるような対応はしていただけるのではないだろうかと考えております。ただ、原状復帰だけではなく、その先を目指していく方策についても、今後、検討していってもらわなければならないと思いますので、事業主体には、kのような声があるということは伝えておきます。

市長

… 今、課長からありましたような状況です。

全体的に減っているのは、東九州自動車道の影響もあります。ルートが変わったということです。ましてや、月日が経つにつれて、同じものでも魅力はダウンしていきますので、横ばい、あるいは、向上していくためには、魅力的な手立てを講じなければなりません。

現在、負のスパイラルに陥っていると思いますけど、深港川の部分に関しては、来年度予算で1億円かけて、しっかりと手立てを打ちます。桜島に関しては、若干不安要素がありますけども、変えられない部分もあります。道の駅の評価はロケーション評価は5、食事と温泉は3ぐらいで、平均4ですので、全国800ぐらいあるなかで、10番付近を行ったり来たりしているわけですが、3の部分の4にしていいたら、平均があがりますので、その戦略をどのようにしていくのかということで、道の駅を目的に行くような魅力をつけないと、古くなったりルートが変わっていったりしますので、減っていくということになります。

温泉の問題も桜島の地殻変動の影響があるとのことで、そこをどうしていくのか。情報としては知っていますので、具体的な手立てをするためには、財源などがでてきますので、相談すべきところに相談しながらやっていきたいと思っております。

M副会長

… ありがとうございます。

経営には様々なことが起こりますので、対応するためには色々ありますので、それが南の拠点にもつながっていくと思います。

最後になりましたが、D委員お願いします。

D委員

… まず、質問があります。空き家バンクに既に取り組んでいるとのことでしたが、自分も空き家を持っているものですから、登録状況と実際に利用者がいるのかどうか。

水産業界としては、非常に裾野広くて、関係者が多くいます。その方々を空き家に居住を進めたらどうかなと感じております。

次は、井グランプリやカンパチメニューレシピなどについては、現在取り組んでおります。花火は打ち上げるんですけど、実際に実を結ぶところまではきていないのですが、この件に関しては持ち帰って、組合で検討させていただきたいと思っております。

ベトナムの研修生の件についてですが、我々にも独身の男性が多いということで、できれば日本人と結婚してもらいたいという思いもありますが、実際には受入ました。15名ずつ入れる予定だったのですが、1人当たり200万円ぐらいかかるということで、現在、6名ですけども、隣の鹿屋漁協も3月か4月に2名入るということで、できれば、日本人の方と結婚していただきたいなと思っております。

最後に、桜島レベル4の関係ですが、マスコミなども慎重にしてもらいたいなと思っております。秋の修学旅行がほとんどキャンセルになり

まして、話自体は2・3年前から決まっていたものなのですが、桜島の関係でキャンセルが相次いだということでもあります。

M副会長

… ありがとうございます。

質問が1つありましたので、空き家バンクについてお願いします。

事務局

… 空き家バンクにつきましては、本市におきましても力を入れている部分でありまして、開設当時は50件ほど登録件数があったわけですが、それが一桁ほどに落ちてきまして、なかなか登録する方がいらっしやらない状況です。その登録増に向けた取組を色々とおこないながら、現在、年間10数件の登録をさせていただいております。登録していただいた住宅については、ほぼ100%登録と同時に活用されている状況であります。

我々としましても、より多くの登録をしていただくために、空き家バンクに登録していただくためにリフォーム助成だとか、空き家バンクへ入居して方へ助成するだとかの利活用の促進については、力を入れているつもりではあります。PRが届いていないのが現状のようでございます。金融機関さんにもいろいろな空き家の活用等についても協力をいただいておりますので、空き家の利活用、それから、取り壊し、優良な空き地の提供などの色々なかたちでの支援や活用を進めていながら、人口流出阻止、流入促進に取り組んでいるところでございます。

M副会長

… ちなみに、登録後、借りる人・買う人は、市内や市外なのでしょうか。

事務局

… 今までのトータル件数で、150～160件ほど成約しておりますけども、50件ほどが市外からの定住につながっております。非常に効率の良い政策だと考えております。

M副会長

… ありがとうございます。みなさま、是非、活用していただければと思います。

先日、カンパチ祭りなどありましたけど、桜島の影響などはなかったのでしょうか。来場者が少なくなったとかはなかったのでしょうか。

D委員

… カンパチ祭りには影響はそれほどありませんでしたけども、修学旅行生への影響が大きい状況です。

M副会長

… 市にお願いできればいいでしょうけど、あれは、気象庁が決定するのですか。

市長

… そうです。レベル4になりますと現地はよくても、旅行会社が連れてこないという状況になっています。情報収集はしておりましたけども、県などの初動が良すぎたものですから、桜島が今にも大正噴火のような状況になるような間違った情報発信がされましたので、結果として、風評被害が発生してしまいました。

M副会長

… ありがとうございます。市が協力できることがありましたら、よろしくお願いします。

みなさん、貴重なご意見をありがとうございました。みなさんにご意

見をお伺いしましたが、他に何かご意見等はありませんか。

それでは、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、ご意見等ないようですので、承認することとしてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。では、事務局におきまして、本日出されました意見をまとめていただいて、最初にありました10月29日の経営会議の決定に向けて進めていただければと思います。

私のほうからは以上ですが、協議のほうはこれで終わりたいと思います。事務局にお返しいたします。

事務局 … M副会長におかれましては、本日は議事進行ありがとうございました。1つだけ事務局からご連絡がございます。

事務局 … 本日の審議会をもって、垂水市人口ビジョン・垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関する審議は終了となります。

先程、担当と課長のほうからもありましたけども、今後は議会への説明などを進めてまいります。本当のありがとうございました。

今後の予定についてであります。計画の策定は今回で目処が立ったということで、次は、この具体的な事業がどのように展開されるのかなどのお話になろうかと思います。当初は5回の開催予定だったのですが、年明けの1月か2月か、日程は流動的ではありますが、具体的に取り組んでいる内容が少しでもご披露できればと考えておりますので、改めて、ご連絡させていただきたいと考えております。

来年度は、PDCAに基づいた作業を頑張ってくださいとこととなりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

最後になりますけども、委員の皆さま方におかれましては、本年5月から、ほぼ毎月の審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。今後、市としましても総合戦略をもとに、垂水市独自の地方創生に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、事業の進捗、また、新たなご意見ご提案などがございましたら、随時、事務局にご連絡いただければありがたいと考えております。

今後とも本市行政にご尽力のほど、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

事務局 … 長期に渡りまして、策定にご協力いただきまして、本当のありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

それでは、第5回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を終了いたします。ありがとうございました。

11:20 終了